第6回日田彦山線復旧会議

2020年7月16日

議　題

○日田彦山線の復旧について

前回（第５回復旧会議）の振り返り

第5回復旧会議議事概要より抜粋

・ JR九州からの新たな復旧案について、地域振興策や観光振興、利便性の向上の観点からJR九州としてブラッシュアップした上で、次回の復旧会議で議論する

・ 鉄道復旧のためには、財政支援を含む年間1.6億円の収支改善がなぜ必要となるのかということについては、引き続き、JR九州として地元の皆さまにご理解頂けるよう丁寧な説明に努めていくこととする

・ 3月末までに復旧会議を開催し、復旧の方向性の合意を目指す

第５回復旧会議をうけてJR九州から地元の皆さまへの説明

○添田町　（JR九州による説明）

【日程】2020年2月25日　【場所】彦山地区総合センター

【日程】2020年2月27日　【場所】桝田公民館

【日程】2020年3月 3日　【場所】添田中公民館

○日田市　（JR九州による説明）

【日程】2020年3月 1日　【場所】日田市夜明振興センター

・第５回復旧会議を踏まえた復旧案

第５回復旧会議を踏まえた復旧案

7.7km　お住まいのエリアの一般道を通ることで「使いやすさ」を重視する区間

7.9km（トンネル 4.4km）　鉄道ルートの釈迦岳トンネルを活かし「速達性」「定時性」を重視する区間（BRT専用道）

13.6km　お住まいのエリアの一般道を通ることで「使いやすさ」を重視する区間

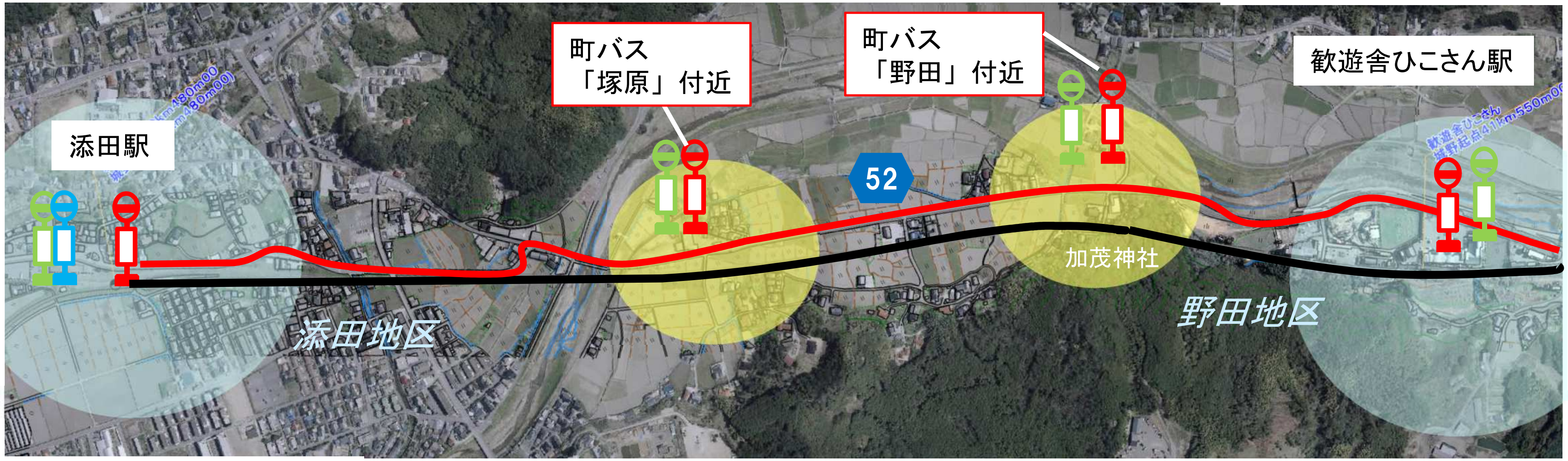
29.2km

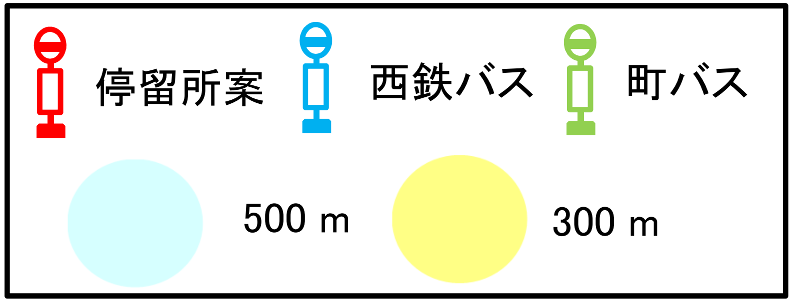
徒歩圏内の身近な停留所へ

駅（停留所）　添田町

添田町　ご利用のしやすさ　151 世帯 増加

（例）添田駅～歓遊舎ひこさん駅（2.1km）　ご利用のしやすさ 68 世帯 増加



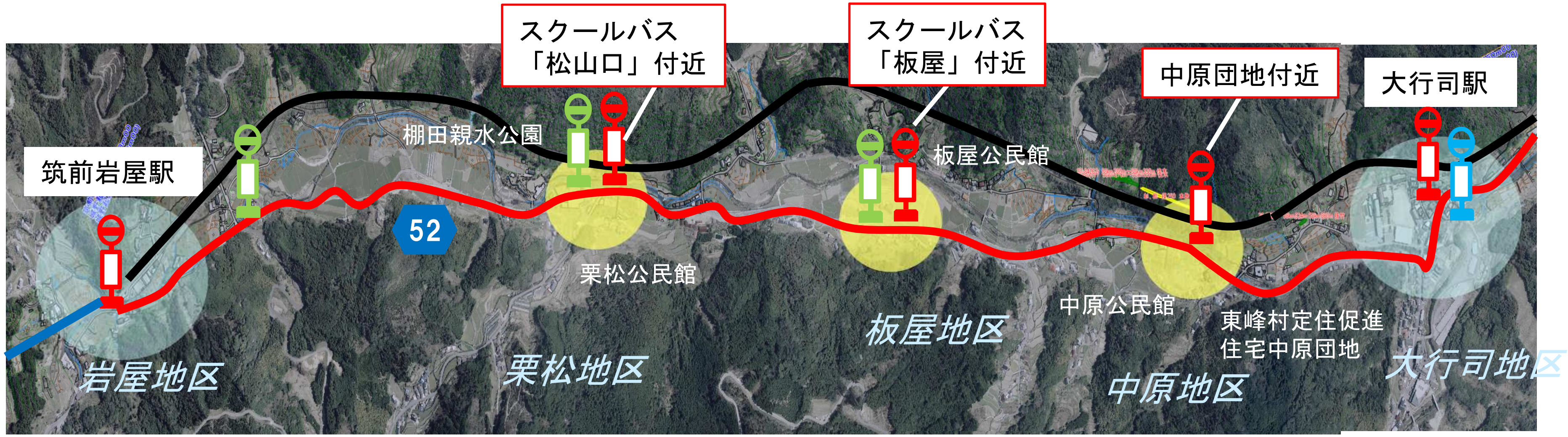


徒歩圏内の身近な停留所へ

駅(停留所) | 東峰村

東峰村　ご利用のしやすさ　86 世帯 増加

（例）筑前岩屋駅～大行司駅（4.2km）　　ご利用のしやすさ　64世帯 増加



徒歩圏内の身近な停留所へ

駅（停留所）　日田市

日田市　ご利用のしやすさ　141 世帯 増加

（例）宝珠山駅～大鶴駅（1.6km）

ご利用のしやすさ　39世帯 増加

農産物直売所「沙羅」

徒歩圏内の身近な停留所へ

駅(停留所)

【現時点で検討している停留所数】

		添田町 添田駅～(筑前岩屋駅)	東峰村 筑前岩屋駅～宝珠山駅	日田市 (宝珠山駅)～ 夜明	合計
被災前	駅	4	3	3	10
BRT案	駅+停留所	11	8	12	31
	ご利用のしやすさ【世帯数】	151	86	141	378

世帯数とは、半径300m内のバス勢圏範囲かつ、高低差がない戸数

- 乗車機会が<u>約3倍</u>に
- 新たに<u>約400世帯</u>の方々がご利用しやすく

快適なバス車両の導入

車両

安心してご乗車いただけるバリアフリーな車両

【参　考】

日野自動車(株)HPより一部引用

フラットなフロア

はね上げシート

車椅子用
スロープ板

日田彦山線の路線イメージをつくるデザインのラッピング

JR東日本　HPより引用

新潟市　HPより引用

快適に待ち時間を過ごせる環境整備

運行体系

ロケーションシステムの導入により、運行情報を提供

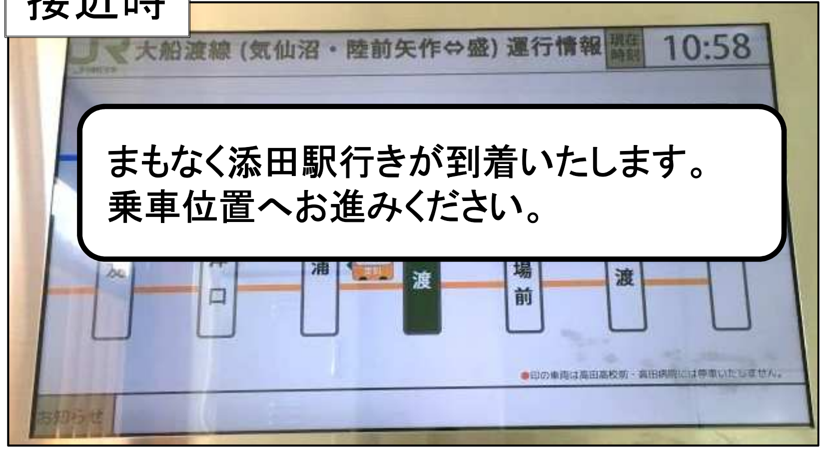
各鉄道駅に設置

駅の待合室に案内モニター設置

通常時

バスの位置と遅れ時間を表示

接近時

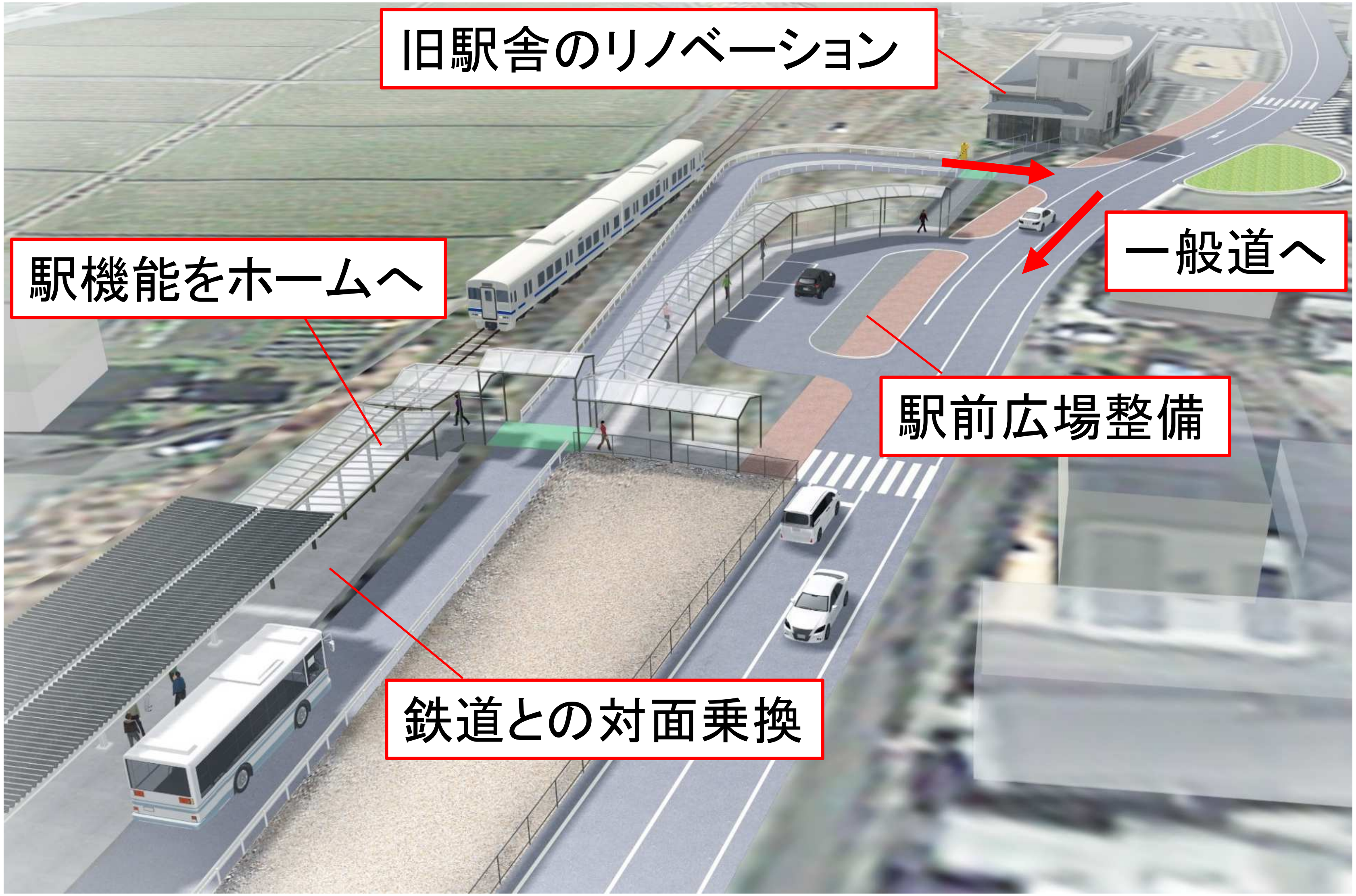


到着前に接近表示と音声案内

人をつなぎ、「まち」をつなぐ駅へ

駅(停留所)　添田町

添田駅

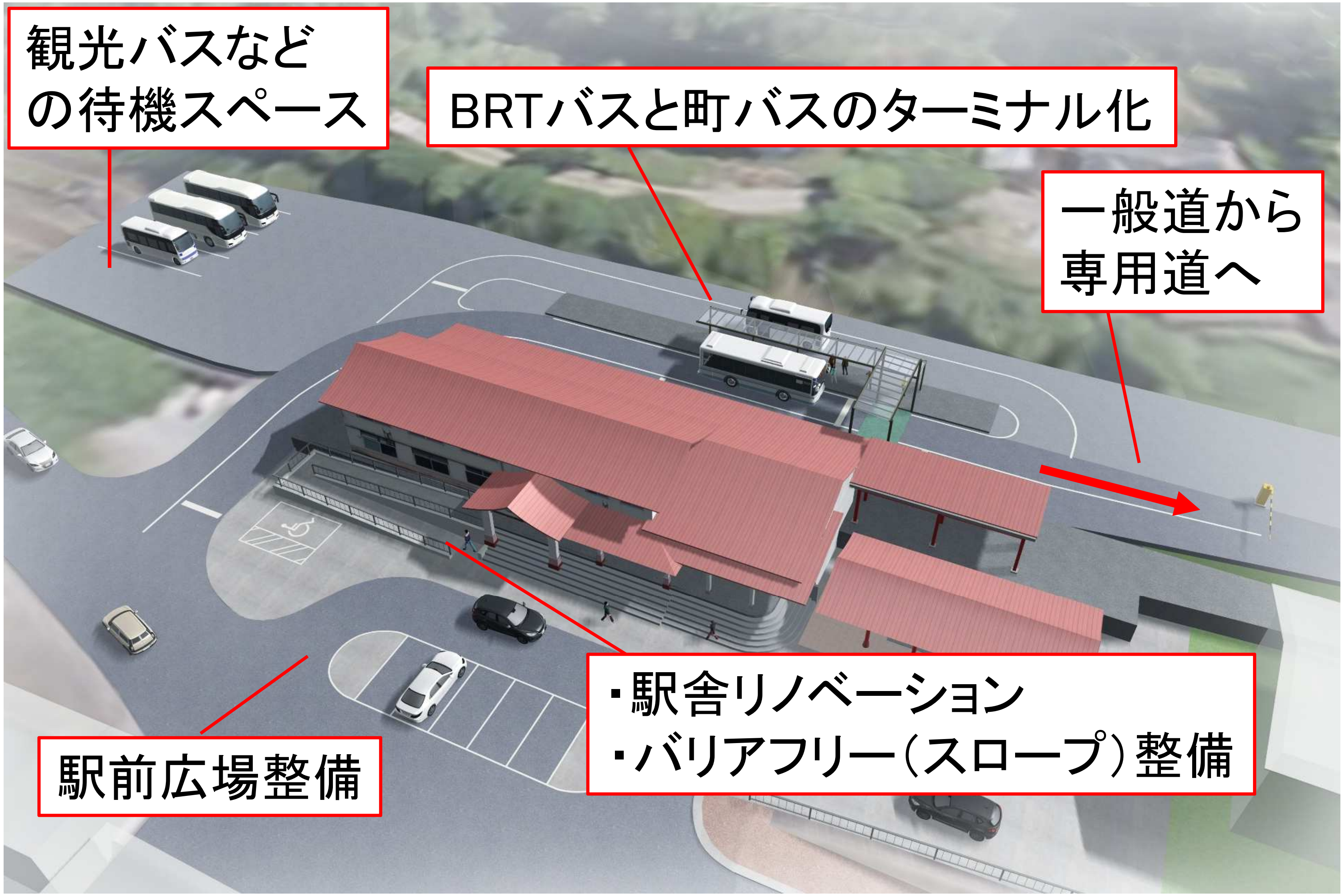


この資料は完成イメージであり、変更の可能性があります

人をつなぎ、「まち」をつなぐ駅へ

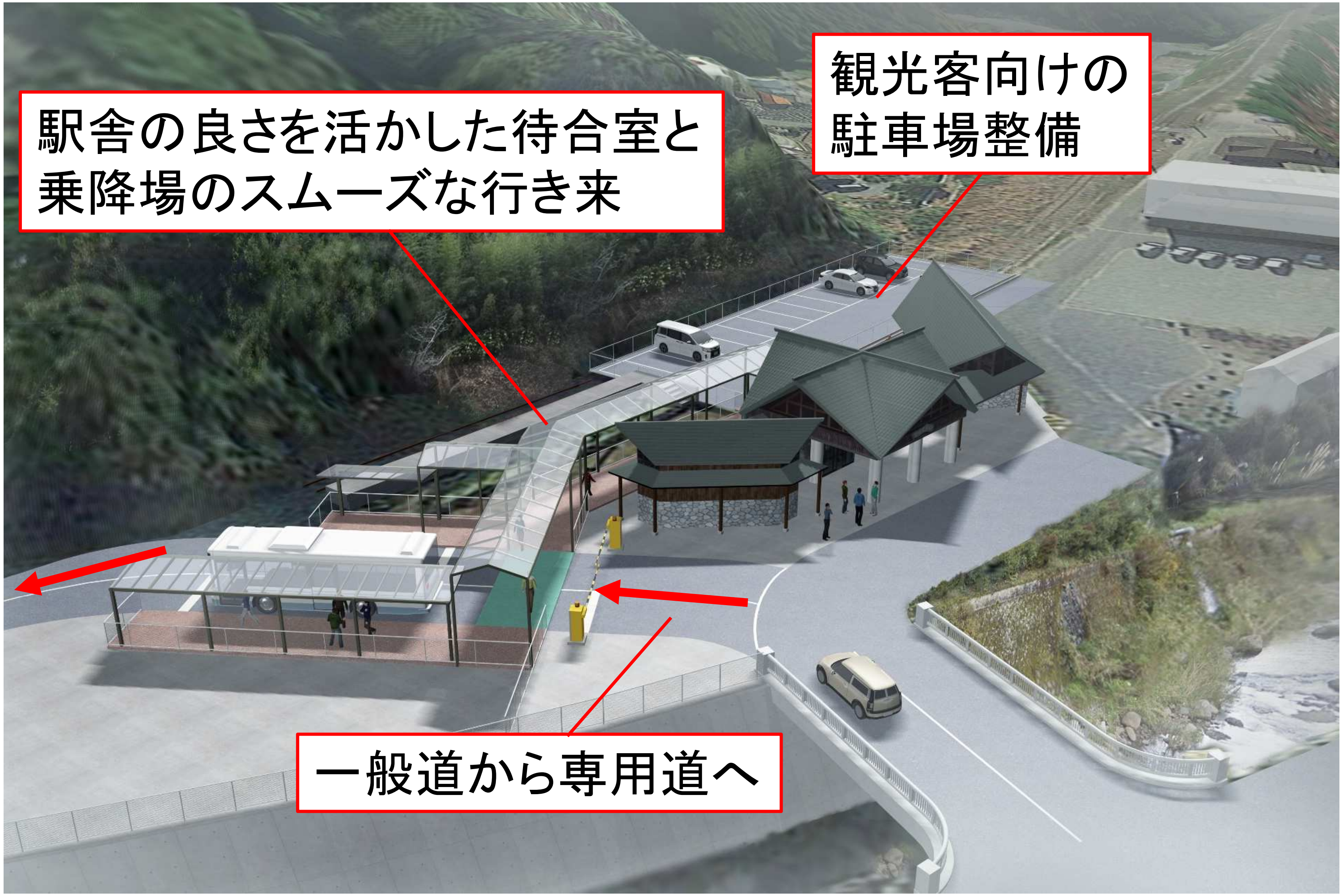
駅(停留所)　添田町

彦山駅



この資料は完成イメージであり、変更の可能性があります

筑前岩屋駅

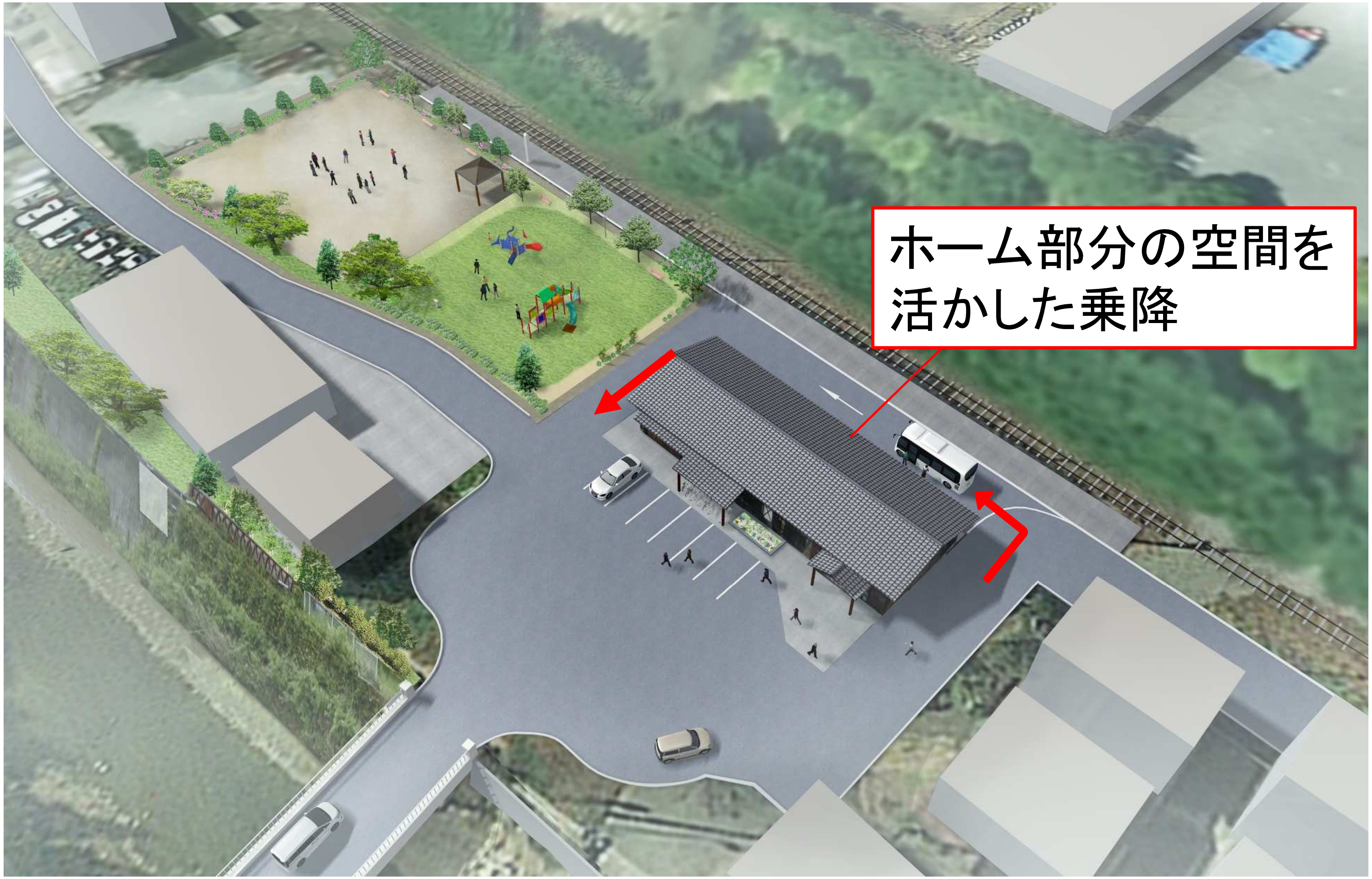


この資料は完成イメージであり、変更の可能性があります

人をつなぎ、「まち」をつなぐ駅へ

駅（停留所） 東峰村

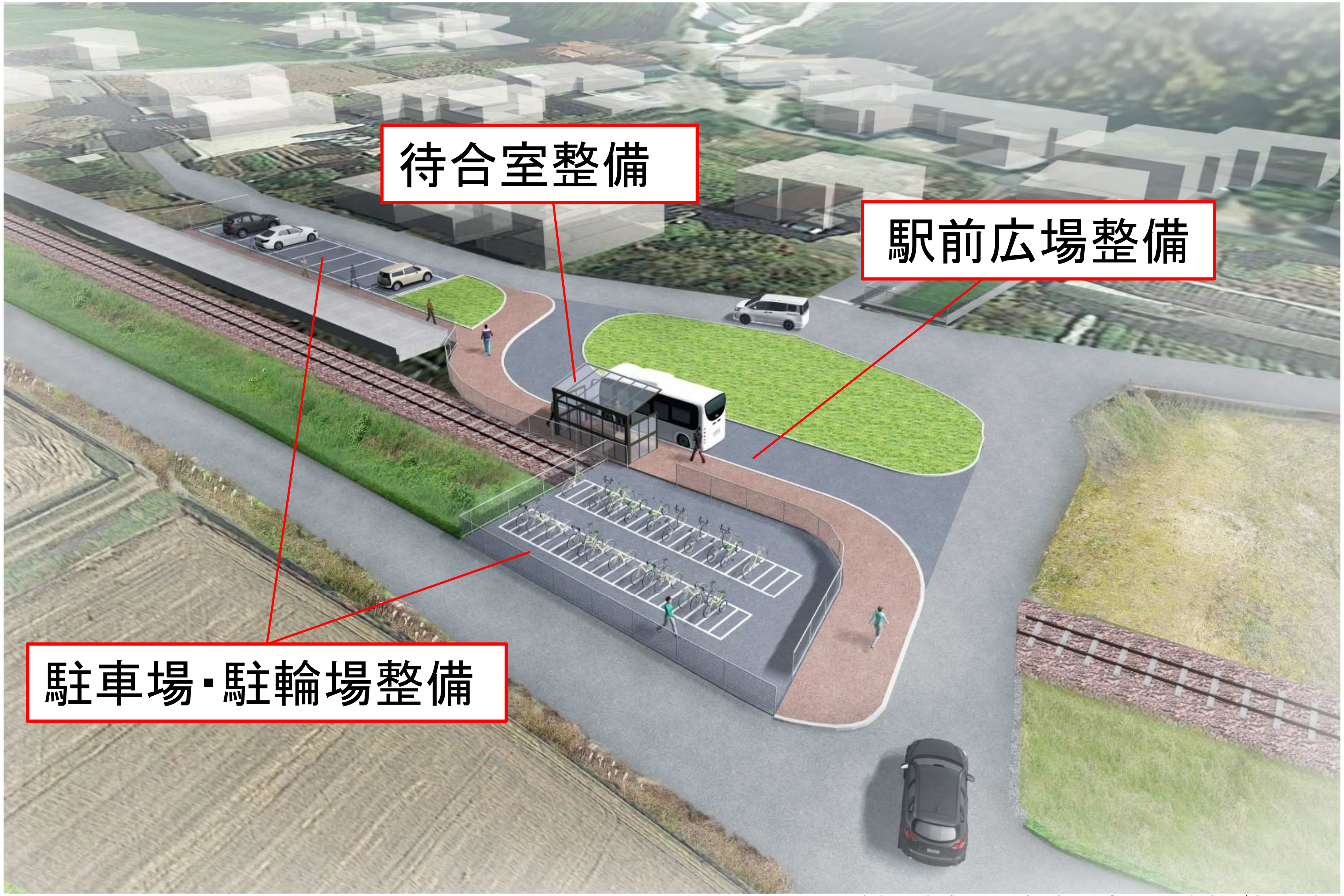
宝珠山駅



この資料は完成イメージであり、変更の可能性があります

人をつなぎ、「まち」をつなぐ駅へ

今山駅



この資料は完成イメージであり、変更の可能性があります

徒歩圏内の身近な停留所へ

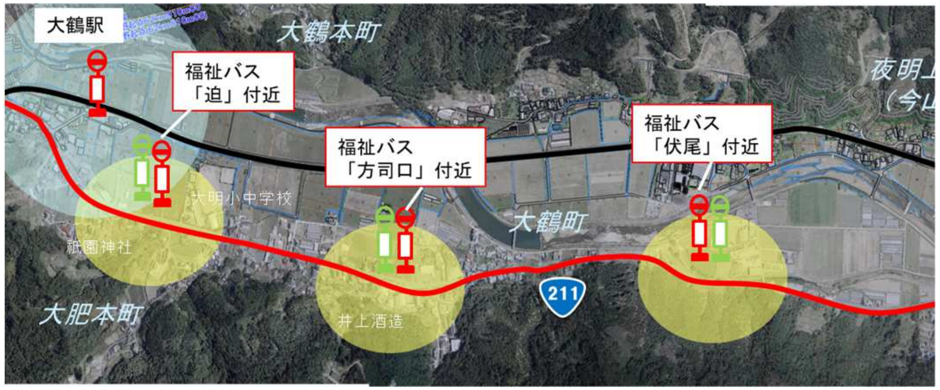
駅（停留所）　日田市

日田市（宝珠山駅～夜明駅間）

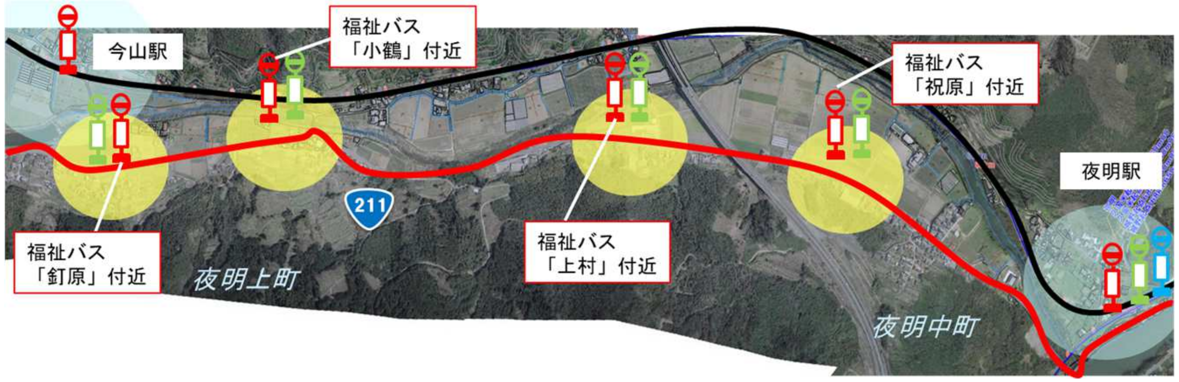
新たな停留所　**9ヵ所** 増加（3 ⇒ 12）
ご利用のしやすさ　**141 世帯** 増加

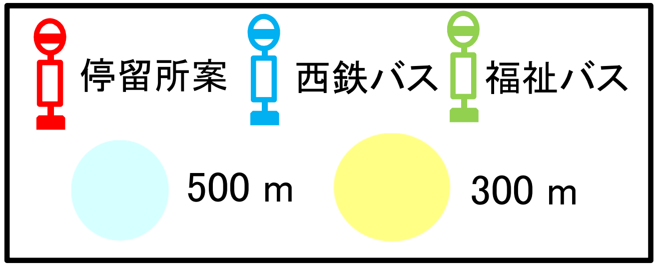
［ 宝珠山駅～大鶴駅 ］

［ 大鶴駅～今山駅 ］



［ 今山駅～夜明駅］





・福岡県がJR九州に提案した復旧案

福岡県がJR九州に提案した復旧案

延伸案

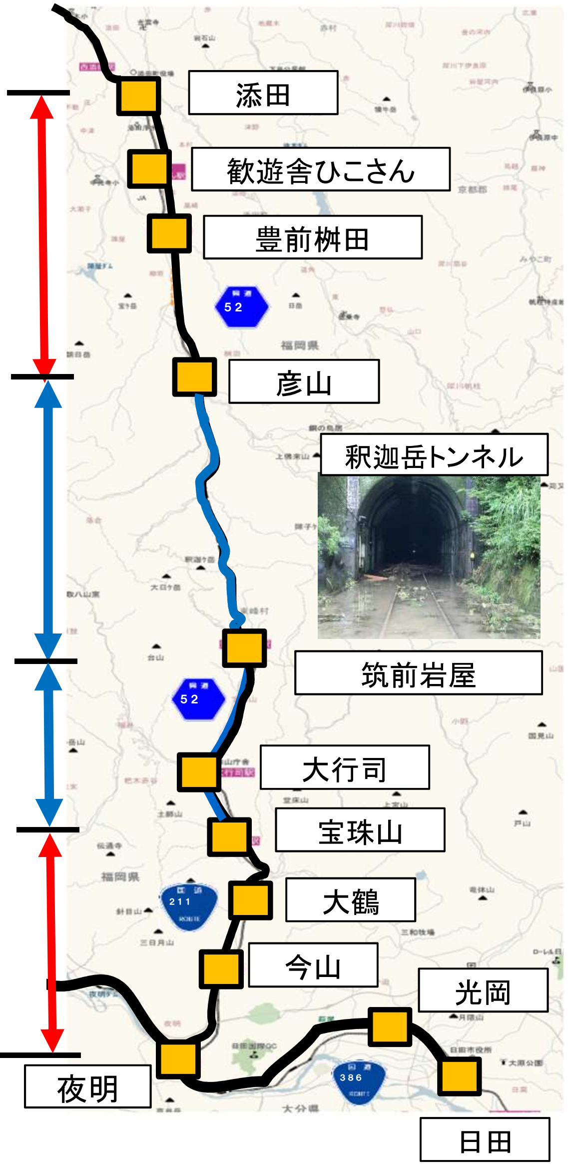
7.7km

7.9km
（トンネル 4.4km）

6.2km　　延伸区間

7.4km

29.2km



日田彦山線の復旧について

【経緯】

・5月16日　東峰村長、東峰村議との意見交換

・5月24日　東峰村での住民説明会

・5月26日　東峰村による住民報告会

【復旧案】

彦山駅から宝珠山駅までを専用道区間とするBRT（バス高速輸送システム）による復旧

・BRTの特色を生かしながら、地元の地域資源を生かしつつ、観光振興や地域振興につなげていくことができること

今後の進め方について

　復旧会議での合意事項を達成するために、具体的な諸課題について、関係者間で調整を進めていく。

【メンバー】
　JR九州、福岡県、大分県、東峰村、添田町、日田市

【検討事項】
・運行開始に向けた調整事項
（停留所の設置位置、運行ダイヤ、鉄道用地の取り扱い等）
・運行や運営に関する具体的な諸課題

日田彦山線の復旧について

○まとめ